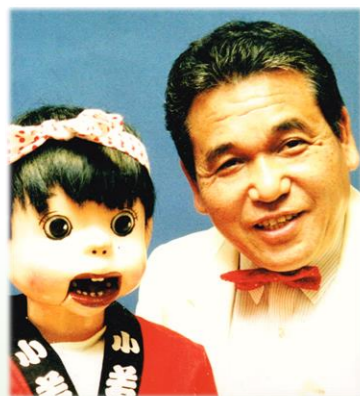


コロナ時代をうけて立とう！それが今秋の公演です。少人数の演目を選び、稽古はバラバラ、でも心を合わせて元気いっぱいの舞台を作り上げている真っ最中。パフォーマー(大道芸)やピアニスト、演劇仲間も大集合！熱気あふれて換気にいそがしい舞台になるかもしれません。どうぞご期待下さい!! 一演出/和田庸子

京浜協同劇団 第94回公演／この秋は色とりどりのバラエティー企画です。1度の公演で狂言・ピアノ・大道芸＋腹話術・落語。

笑劇場
コロナ退散!



腹話術

ご存知「ゴローちゃんとしろたにまもる」
出演回数日本一と認定。
雨ニモマケズ、風ニモマケズ、
コロナにも負けず、笑いを届けます。



大道芸

アツと驚く多彩な芸の数々を観ていただきます。スペース京浜を練習場所に日々腕を磨いています。今回、初登場の若いパフォーマー・グループ！
8人の演者も内容も日替わりでお目見え。乞う、ご期待。

ご挨拶
今年、創立六十一年目を迎える地元の京浜協同劇団です。皆様にたくさんのご支援を頂いて今日まで続けて参りました。コロナ禍の中、演劇人としてガマンも限界、舞台こそ三密の醍醐味、何かできることはないかと試行錯誤の末、少人数の出演で上演する「狂言芝居」を企画しました。新たに仲間も加わって『コロナ退散！笑劇場』と銘打つ、バラエティー豊かな公演となりました。明るい年の瀬を願い、大いに笑い、楽しいひと時をお過ごし頂ければこれ程嬉しいことはありません。スペース京浜を特設劇場にして皆様のおいでを心よりお待ちしております。

— 出演者一同 —



ピアノとともに

安達元彦(作曲家)組長として、3人のピアニストが日替わり出演。初日には自ら出演してくれます。書籍「安達元彦」(2018年刊行)
鈴木たか子=劇団の公演にナマ演奏で出演の実績を持つ。「金冠のイエス」「母おふくろ」などの舞台は鮮明に残っている。
竹内陽子=安達元彦作曲の「MINYO」演奏などで活動している。今回は岡田京子の作品で宮沢賢治の世界を聴かせてくれます。
秋山ちづる=ドイツ国立リュベック音楽大学ピアノ科卒業。帰国後『暮らしっく音楽』を模索する中で安達元彦、たつの素子と出会う。日本の民謡曲に興味を持ち、ピアノ伴奏アレンジにも挑戦。



落語とマジック

「おもしろマジックのマリン」として、全国各地で公演、人気抜群。落語もレパートリーにしている。今回は「芝浜」を語ってくれます。他に「文七元結」も演じます。マジックは日替わりとなります。



朗読

じっくりと、ものがたりの世界へといざなう朗読。ベテランの瀬谷やほこの語りは、経験を重ねた爽快さが心地よく響いてきます。笑劇場に相応しく面白い語りをお聞きいただけます。



漫才

漫才にチャレンジするのはこのコンビ。生真面目な二人が必死に稽古して臨みます。おとぼけシちゃん、ツッコミのそのこさん。コロナ禍の現実で、オヤジと娘が織りなす会話の面白さが見どころです。(作・演出=護柔一)

会場=スペース京浜

2020年

11月	21	22	23	28	29
	(土)	(日)	(祭)	(土)	(日)
11時	●	●	●	●	●
15時	●	●	●	●	●

ご来場はマスクを着用願います



稽古場から出演者の情報をお届けします

狂言芝居：二題



小川がこう 川西玉枝

◎「お告げの妻」(因幡堂)
大酒呑みの妻が里帰りしたのを幸いに離縁状を送り付けた亭主。新しい妻を授けてもらおうと因幡堂へ妻乞いの願掛けに訪れる。それを知り離縁状を手を烈火のごとく怒って因幡堂にやって来る妻、妙案を思い付き、「薬師如来であるぞやく」「願いを聞き届けたぞよ」と囁いた。夢のお告げと喜ぶ亭主、さあ、お告げの妻は……??

◎「なろうつとかな」(寝替)

午前・午後、演目が替わります
あなたはいつかお話を観ますか?



全予約制です。お申し込み順にチケットをお送りします。

制作ニュース

京浜協同劇団／発行:2020年10月

予約受付中 ☎ 044-511-4951
Fax 044-533-6694

※ コロナ対策は万全です。毎回場内の換気、座席は密を避けて配置、開演前の消毒により、安心して観劇していただけるように配慮しています。